



「可能性を可能へ！」

2020年子年、令和2年が始まりました。十二支では、「ねずみ年」の「ねずみ」を「子」と書きます。十二支の「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」は種が成長し、実を付け、やがて枯れていくという植物の一生を表しているという説があります。

「子」は新しい生命が芽生え始めるエネルギーが蓄積した状態、つまり子年は未来への希望や可能性を秘めた始まりの年、これから繁栄していくとても縁起のよい年なのだそうです。

さてみなさん、「Be Smart KOBE」プロジェクトをご存知でしょうか。それは神戸市が実施する、スマートシティ化実現に貢献する事業の実証実験を対象とした、民間事業者支援プロジェクトのことです。世界が直面する人口減少や高齢化、エネルギー転換などの課題を、「先進」的な技術を活用しつつ、サービスの受け手の視点で「人間中心」的に解決することを目指し、神戸の誇る「海」と「山」をフィールドとした、「Human×Smart」な都市づくりを実現するプロジェクトのことなのです。（スマートシティとは、IoT（モノのインターネット）の先端技術を用いて、基礎インフラと生活インフラ・サービスを効率的に管理・運営し、環境に配慮しながら、人々の生活の質を高め、継続的な経済発展を目的とした新しい都市のことです。）

その中の「山」フィールドの核として「六甲山」がその取り組みのエリアに入っているのです。具体的には、遊休施設の先進的活用（オフィスの実装）、山間部における広域ネットワーク網の実装実験（無線ネットワーク、5Gの実装実験）、そしてセーフティでスマートな登山道の実装（IoTを活用した安全確保サービスの提供）の3点があげられています。

そしてこのたび、日本電気様と六甲山観光様が事業者として選考され、六甲山における顔認証システムを用いた新しい仕組みの実証実験を行うことになりました。具体的には登下校時、顔認証システムを利用し、定期券を提示せずにケーブルカーに乗車しようとする試みです。保護者の皆様におかれましては、この度の目的や個人情報のセキュリティ等についてご不安なこともございますでしょうから、神戸市役所企画調整局と日本電気の方々にお越しいただき、説明していただく機会を設定しております。この度の取り組みがうまくいけば、さらに他のサービスとも関連させるなどして子供たちを含めたケーブル利用者のいろいろな利便性が向上することにつながっていくとのことです。別途、説明会につきましてはご案内申し上げますので、是非お越しいただき、疑問点等を聞いていただければと思います。お忙しい中、どうぞご参加につきましてよろしくお願い申し上げます。

さて、今年は新しいことを始めるにあたりとても縁起のよい子年です。しかし、新しいことを生み出すためには、事前にしっかりとしたりサーチ、そしてその調査に基づいた着実な準備が必要になります。只々待つのではなく、積極的に、そして多面的に働きかけることで文字通り実りある一年にしていきたいと思います。本年もご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

森澤 克行



4年生教室の壁紙を一新しました。



体育館倉庫に除湿装置を付け、壁の張替をしました。



職員室前の棚の高さを揃え、作品が置けるようになりました

冬休みの間に学校整備が進みました。3学期は階段の床の張替等も予定しています。

★今回の学校だよりは、1・2月合併号でお届けします。

★「六甲山における顔認証システム実証実験」についての説明会を 1月27日（月）13：40から、本校にて行います。ご希望の方はぜひご参加ください。尚、今週末に当日資料を事前配布する予定です。ご一読ください。尚、説明会当日、参加される保護者の皆様は、事前配布資料をご持参ください。